

一般演題 B 会場（総合研究棟 多目的ホール）

B1 中枢-1

座長 香月博志（熊本大院・薬）
岩崎克典（福岡大・薬）

8:45 B1-1

グリオーマ細胞の移動・浸潤における Caspr1 の役割

○益田将吾¹、二川俊隆¹、山口沙織¹、山田勝士²、池田龍二¹、武田泰生¹
（¹鹿児島大院・医歯・薬物動態制御、²長崎国際大・薬・臨床薬理）

8:56 B1-2

神経接着関連分子 Caspr4 の脳形成過程における役割

○二川俊隆¹、益田将吾¹、鬼丸貴裕¹、山田勝士²、池田龍二¹、武田泰生¹
（¹鹿児島大院・医歯・薬物動態制御、²長崎国際大・薬・臨床薬理）

9:07 B1-3

クロモグラニン A はβアミロイドよりも強かにミグログリアにおける IL-1β産生を誘導する

○武洲、中西博
（九州大院・歯・口腔機能分子）

9:18 B1-4

クロモグラニン A ならびにカテプシン B の慢性疼痛発症における役割の解析

孫麗、武洲、林良憲、○中西博
（九州大院・歯・口腔機能分子）

9:29 B1-5

注意欠如多動性障害モデルラットが示す衝動的行動に対する非定型抗精神病薬の効果

○山口拓^{1,3}、富樫廣子²、山本経之¹、吉岡充弘³
（¹長崎国際大・薬・薬理、²北海道医療大・薬・病態生理、³北海道大院・医・神経薬理）

一般演題 B 会場 (総合研究棟 多目的ホール)

B2 中枢-2

(優秀発表賞審査対象)

座長 寺本憲功 (佐賀大・医)
大石了三 (九州大院・薬)

9:40 B2-1

プロスタグランジン EP4 受容体による視索前野ニューロンの細胞骨格制御

○北條寛典¹、吉岡美樹²、土屋裕義³、土屋創健¹、川原浩一¹、三隅将吾¹、瀬木-西田恵里²、杉本幸彦¹

(¹熊本大院・薬・薬学生化、²京都大院・薬・生体情報、³自治医大・医・分子薬理)

9:51 B2-2

Endothelin-1 による電位依存性 Nav1.7 チャネルの発現低下

○根本隆行¹、柳田俊彦¹、杉田千泰¹、和田明彦²、村上 学¹

(¹宮崎大・医・薬理、²九州保福大・社会福祉・スポーツ健康福祉)

10:02 B2-3

神経保護性 DAMPs: プロサイモシン α の非小胞性遊離機構

○松永隼人、植田弘師

(長崎大院・医歯薬・分子薬理)

10:13 B2-4

脳梗塞における神経細胞特異的なプロサイモシン α の遊離

○山口晴佳、Sebok Kumar Halder、松永隼人、植田弘師

(長崎大院・医歯薬・分子薬理)

10:24 B2-5

障害性 DMAPs の遊離制御による脳梗塞治療

○Sebok Kumar Halder、松永隼人、植田弘師

(長崎大院・医歯薬・分子薬理)

B3 中枢-3

(優秀発表賞審査対象)

座長 山本秀幸 (琉球大院・医)
佐藤友昭 (鹿児島大院・医歯)

14:20 B3-1

PACAP 誘発長期疼痛行動の発症メカニズム – PACAP-PAC1 受容体シグナルによる早期脊髄後角アストロサイト活性化の関与

○用皆正文¹、大納哲也^{1,2}、栗原 崇¹、長谷川麻衣子²、朝田俊秀¹、上村裕一²、清水隆雄¹、宮田篤郎¹
(鹿児島大院・医歯・¹生体情報薬理、²侵襲制御)

14:31 B3-2

炎症性疼痛モデルマウスに対する新規カゼインキナーゼ阻害薬の抗侵害効果

○川元大輔¹、喜井 勲²、豊本雅靖²、朝田俊秀¹、吉村 恵³、萩原正敏²、宮田篤郎¹、栗原 崇¹
(¹鹿児島大院・医歯・生体情報薬理、²京都大院・医・形態形成機構、³熊本保健科学大・保健科学)

14:42 B3-3

出血性脳障害時の内包における軸索傷害メカニズムの解析

○脇岡雅宣、松下英明、石橋勇人、久恒昭哲、磯濱洋一郎、香月博志
(熊本大院・薬・薬物活性)

14:53 B3-4

新規ハンチントン病モデル Gy7 欠損マウスが示す加齢進行性運動失調に対する pramipexole の改善効果

○佐々木恵太、植田弘師
(長崎大院・医歯薬・分子薬理)

15:04 B3-5

Repeated treatment with escitalopram differentially modulates the responses of extracellular serotonin to escitalopram in WKY and Wistar rats

○山田麻記子¹、河原幸江¹、金子富美¹、岸川由紀¹、河原 博²、西 昭徳¹
(¹久留米大・医・薬理、²鶴見大・歯・歯科麻酔)

一般演題 B 会場（総合研究棟 多目的ホール）

B4 中枢-4、末梢、呼吸器-2

（優秀発表賞審査対象）

座長 中西 博（九州大院・歯）
山本経之（長崎国大・薬）

15:15 B4-1

細胞種特異的 STAT3 欠損マウスを用いた神経障害性疼痛の解析

○坂口瑛美¹、津田 誠¹、高露雄太¹、齊藤秀俊¹、岡野栄之²、井上和秀¹
（¹九州大院・薬・薬理、²慶應大・医・生理）

15:26 B4-2

線維筋痛症モデルにおけるミクログリア活性化とその役割

○赤木貴紀、津田 誠、井上裕雅、南 絵美子、井上和秀
（九州大院・薬・薬理）

15:37 B4-3

新生児低酸素性虚血性脳症モデルラットにおけるドーパミン神経障害誘発性回転行動に対する脳血管新生病変形成の関与

○坂元佑哉¹、入江圭一²、三島健一¹、秋武義治²、宮澤秋子¹、梶 千恵¹、中村裕司¹、窪田香織¹、桂林秀太郎¹、高崎浩太郎¹、岩崎克典¹、藤原道弘¹
（福岡大・¹薬・臨床疾患薬理、²加齢脳科学研）

15:48 B4-4

オキサリプラチン誘発末梢神経障害における坐骨神経の髄鞘形成障害と Neuregulin 1 の発現低下の関与

○堤 国章¹、山下祐二¹、川尻雄大²、江頭伸昭^{1,2}、要 幸典¹、牛尾聡一郎¹、大石了三^{1,2}
（九州大・¹薬・医薬品情報解析、²医病・薬剤部）

15:59 B4-5

血液凝固因子 F-XIa のモルモット咳嗽反射に対する強力な鎮咳活性 — GERD 様モデルでの検討

○野口哲郎¹、副田二三夫¹、白崎哲哉¹、赤池紀生²、伊東祐之²、亀井慎太郎³、高濱和夫¹
（¹熊本大院・薬・環境分子保健、²熊本保健科学大・保健科学、³化血研・蛋白製剤研）

一般演題 B 会場（総合研究棟 多目的ホール）

B5 中枢-5

座長 宮田篤郎（鹿児島大院・医歯）
西 昭徳（久留米大・医）

16:20 B5-1

ペンタゾシンのモノアミントランスポーター機能に及ぼす影響

○小原 剛^{1,2}、豊平由美子¹、稲垣博英¹、高橋圭太¹、上野 晋³、佐多竹良²、柳原延章¹
（産業医大・医・¹薬理、²麻酔科、³産業生態科学研・職業性中毒）

16:31 B5-2

ノルエピネフリントランスポーター機能調節における Rho キナーゼの関与

佐藤教昭¹、○豊平由美子²、小原 剛²、上野 晋³、筒井正人⁴、柳原延章²
（産業医大・¹生体情報研究セ、²医・薬理、³産業生態科学研・職業性中毒、⁴琉球大・医・薬理）

16:42 B5-3

GLP-1 分泌神経細胞の細胞外グルコース応答に関する解析

○久留和成、寺本憲功
（佐賀大・医・薬理）

16:53 B5-4

MARCKS 発現量・リン酸化にメチル水銀がおよぼす影響と細胞毒性との関連

○白石光也¹、半谷 誠¹、佐々木眞敬²、宮本 篤¹
（¹鹿児島大・共同獣医・薬理、²水俣病総合研究セ・基礎研）

17:04 B5-5

神経細胞における ErbB4 受容体の GnRH による制御機構

○山本秀幸、仲嶺（比嘉）三代美、前田紀子、徳 誠吉
（琉球大院・医・生化）

一般演題 B 会場 (総合研究棟 多目的ホール)

B6 中枢-6、その他

座長 植田弘師 (長崎大院・医歯薬)
武田泰生 (鹿児島大院・医歯)

17:15 B6-1

2つのアドレノメデュリン受容体のユニークな活性化機構

○桑迫健二¹、北村和雄²、永田さやか²、加藤丈司¹
(宮崎大・¹フロンティア科学実験総合セ・生理活性物質探索病態解析、²医・循環体液制御)

17:26 B6-2

コカインにより活性化される線条体ドーパミン神経伝達に対するレスベラトロールの急性作用

○首藤隆秀、黒岩真帆美、古賀夕貴、西 昭徳
(久留米大・医・薬理)

17:37 B6-3

抑肝散の神経栄養因子様作用について

○窪田香織¹、佐野賢太郎¹、白石彬子¹、別府奈津子¹、野上 愛^{1,2}、桂林秀太郎¹、
高崎浩太郎¹、三島健一^{1,2}、藤原道弘¹、岩崎克典^{1,2}
(福岡大・¹薬・臨床疾患薬理、²加齢脳科学研)

17:48 B6-4

脂肪酸結合蛋白質 FABP3 欠損マウスにおける不安様行動と CaM キナーゼ活性異常

○山本由似^{1,2}、大和田祐二²、福永浩司¹
(¹東北大院・薬・薬理、²山口大院・医・器官解剖)

17:59 B6-5

ケルセチンは膜型エストロゲン受容体 GPR30 を介して破骨細胞の分化を抑制する

○増原正明、塚原飛央、佐藤友昭
(鹿児島大院・医歯・歯科応用薬理)